

古代 メソポタミア文明展

2011 10.29 SAT — 2012 3.12 MON

午前10時～午後5時

休館日／火曜日（祝日の場合は開館）

年末年始／12月24日～1月3日まで休館

入館料／一般1,200円／高・大学生800円／

小・中学生無料

70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引

障害者手帳をお持ちの方は無料、介護の方1名まで600円

主催 公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館
後援 山梨県 山梨県教育委員会 北杜市 北杜市教育委員会
山梨日日新聞社・山梨放送 信濃毎日新聞社 ハケ岳ジャーナル
NHK甲府放送局 テレビ山梨 エフエム富士 エフエムハケ岳
協力 古代オリエント博物館
協賛 キリンビール

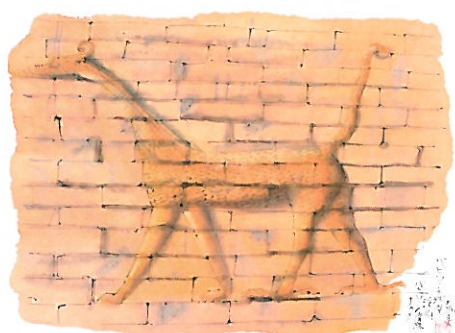


牛と羊の土偶 メソポタミア 前2千年前

世界最古の文明、メソポタミア文明はこれから5000年前の昔、現在のイラクを流れる2つの大河ティグリス川、ユーフラテス川のあいだではぐまれました。メソポタミア文明の最初の担い手であるシュメール人は世界最古の文字である楔形文字を発明し、粘土板にさまざまな記録を刻みました。粘土版に刻まれた文字を解読してみると、当時の人々の意外な素顔や、つましい暮らしのふりかきを見ることができます。



銀製神像 メソポタミア 前2000年頃



バビロン王城壁浮彫 バビロンの遺跡 イラク



ベトラ出土 ベトラ ヨルダン



アラビアの女 シュバイツ 南メソポタミア



幌付き四輪車 北メソポタミア 前2500年頃



太鼓をたたく女性像 シリア 前4～3世紀

オープニング・コンサートのご案内

10月29日(土) 13:50～(1部)
15:30～(2部)

内覧会特別演奏会

チェロ奏者: 西谷牧人
(東京交響楽団首席チェロ奏者、東京藝術大学非常勤講師)
入場料: 無料(ただし入館券が必要)

体験コーナー

- メソポタミアの円筒印章をおしてみよう!
 - シルクロードの民族衣装を着てみよう
- ※美術館内で会期中開催します。
参加自由 無料

平山郁夫シルクロード美術館ニュース

No.

13

平成23年
9月30日発行

同時開催

特別展示コーナー(2階)

平山郁夫初期の作品を会期終了まで特別展示いたします。



「野の鳥」1966年(個人蔵)



「尾長鳥」1971年(個人蔵)

第5展示室(1階)

「祈りの行進・聖地ルルド・フランス」2008年

第6展示室(2階)

平山郁夫 シリーズ制作「大シルクロードシリーズ」



トルコを旅する平山美知子館長と後藤氏(左端)

トルコの買い物

平山美知子

くださった後藤氏にとっては、こんなばーさんに付いて歩いて、さぞかし迷惑だったことと思います。

イスタンブールに移動しましたら、ここは地理的に東と西の接点なので、美術品・工芸品が山のようにあります。季節に贈るカードもトルコのミニアチュールや美しい花々をプリントした美しいものばかり、厚手のショールは色鮮やかで小物に作ってもよいものがたくさんあり、夢中で買い物

をしました。このときは撮影隊と一緒にないので、買い物には助かりました。帰国後、買ってきたトルコ製品を美術館のショップに置いたところ、よく売れてすぐになくなってしまいました。おりしも私の飛行機のマイレージが貯まっており、おまけに後藤氏は全日空の社員なので旅行費用が不要なのでまた一緒にしてくださることになり、その年の九月二十二日、再びトルコに買い物旅行に旅立ちました。こんなこともあり、ショップの買い物も増えていったのです。同行してくれた後藤氏には、今も感謝しております。

二〇〇〇年(平成十二年)六月二〇日、夫の平山はNHKの「世界悠々イスタンブール」収録のために、トルコのカップドキアにいきました。それまで平山と私は百十一回も旅行を共にしてきましたので、この旅行にも私は当たり前のようについて行きました。しかしNHKの取材班にとって、私は困った存在だったのです。収録の最中、どこか見えないところについてくださいと言われても、いつまで隠れていればよいのか分かりません。そこで、NHKのスタ



平山郁夫画伯。
カップドキアの奇岩を背景に

平山が撮影している間に、私は周辺の景観を見て回ることができました。

前年、八ヶ岳に私たちのコレクションを公開する小さな美術館が開館しました。そのショップに置く物を探していたこともあり、トルコ製の袋物や陶器の小皿などごまかしましたものが珍しく、私は少しも退屈しませんでした。付いて

ツフに入っていた全日空社員の後藤太さんが私に付いてくださることになりました。おかげで

コレクション紹介 —牛と羊の土偶—

Collection

メソポタミアに最古の文明が誕生したのは、農業生産性が非常に高かったためといわれます。そうした生活背景を反映してか、この地から発掘される出土品はウシ、ヒツジ、ヤギ、シカ、馬、鳥などの動物をモチーフとしたものが多く、特徴を大



テラコッタ メソポタミア 紀元前2千年紀

胆にとらえた造形には現代美術も顔負けの美的感性がみられます。土偶からは古代人が動物たちを愛し、生命力にあこがれ、かれらと共存した暖かみが感じられます。

(「古代メソポタミア文明展」にて出品予定)

美術館活動のご報告

■5月28日

平山美知子館長による
インドネシア紀行
(対談形式)

ルスタム札子(インドネシア在住)が聞き手となり、インドネシア各地を旅行した楽しい思い出を語っていただきました。



■7月18日

自由研究プロジェクト
に参加

甲府市のアイメッセで開催された自由研究プロジェクトに、美術館から「出張！絵手紙コンテスト」で参加しました。



■5月29日

第2回絵手紙
コンテスト表彰式

震災のため当初の予定より遅れましたが、昨年募集した「第2回絵手紙コンテスト」受賞者にお集まりいただき表彰式を執り行いました。



■8月6日

北杜ふるさと祭り
に参加

「うちわを作ろう」「絵手紙コンテスト」に参加しました。



■6月15日

平山郁夫
絵画教室開催

昨年に引き続き、宮廻正明東京藝大教授に講師となつていただき地元の小学生を対象に絵画教室を開催しました。清里の清泉寮で絵を描いたのち、午後は美術館を見学しました。



■7月31日

「染色体験教室」藍の
生葉染め」「ワークシ
ョップうちわに絵を描
こう」同日開催

夏休みということもあり、たくさん子どもたちが体験を楽しんでいました。



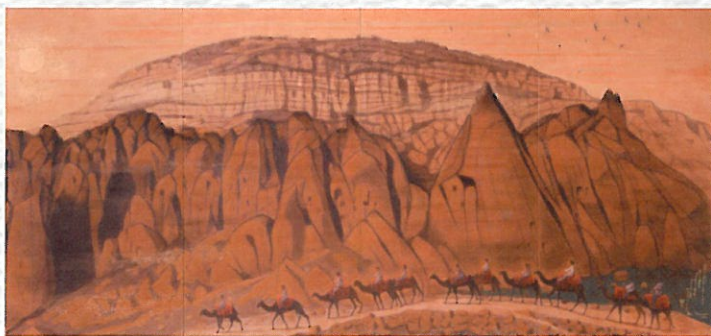
『平山郁夫 文明の十字路を往く』展 開催中

平山郁夫文明の十字路を往く

最後の大シルクロード・シリーズ

2011年6月3日(金)～10月24日(月)

平山郁夫最晩年の傑作「文明の十字路を往く カップパドキア アナトリア高原 トルコ」をはじめ、昨年夏、日本とトルコの友好120周年を記念して開催された「平山郁夫展」(イスタンブール・ペラ美術館)出品作を中心にトルコの風景・人物画などを展示しております。



「文明の十字路を往く カップパドキア アナトリア高原 トルコ」



「朧月夜 ブルーモスク イスタンブール」

若き日の足跡 平山郁夫デッサン展 開催中

- ☐ ギャラリー&ショップ垂絲花(入場無料)
- ☐ 2011年5月28日～11月21日
- ☐ 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分)

ギャラリー&ショップ垂絲花2階で、平山郁夫画伯の20代のデッサンを集めた展覧会を開催しております。学生時代に写生旅行に出かけた折のスケッチやめずらしい人物画など、平山の原点ともいべき姿約20点を初公開。貴重なこの機会に美術館とあわせてお楽しみください。

鎌倉事務局よりお知らせ

平山郁夫シルクロード研究所の研究施設の開放について

シルクロードに関連する調査及び研究を希望される学芸員の方は、鎌倉事務局(TEL0467-25-0251)にお問い合わせください。

美術館の取り組み

美術館の緊急支援に関して

①ベース照明のLED化

当館はこの夏、スポットライトや特殊電球を除き美術館内の照明をLEDに取り替えました。その他、収蔵庫並びに展示作品の保護に関する特殊事情を考慮しつつ、ピーク期間・時間帯(7月から9月までの平日9時から20時まで)における使用最大電力を基準電力値(kW)に比して15%以上抑制し、使用最大電力の抑制にとどまらず、ピーク期間・時間帯を通じた使用電力の抑制にも積極的に取り組んでいます。

②募金箱

美術館受付では、3月30日(水)～9月28日(水)まで、東日本大震災緊急支援に関する取り組みとして募金箱を設置しました。なお、販売品のチャリティコーナーを設け、売上の3割相当額は寄付金として被災地に届ける予定です。ひきつづきご協力をお願いいたします。

③文化庁長官からの感謝状

8月2日(火)、東日本大震災によって被災した文化財の救援・修復活動に関し、一定の寄附又は救援物資の提供等により援助を行ったとして、文化庁長官より感謝状を贈呈されました。



故平山郁夫理事長が進めてきた文化財保護活動に、今後も協力させて頂ければと思います。

(松山光 記)

ウズベキスタン文化・芸術 フォーラム基金との覚書に調印

2011年5月3日、タシケントにおいて当財団は、ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金との覚書に調印しました。覚書では、友好関係の発展と強化、文化、教育、学術、芸術における協力、展示会、会議、研修等の共同開催、教授・教員・学生の交流について謳われています。

平山美知子館長は、「いち早く義捐金をお送りいただき、心の支えとなってくださったウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金及び基金のグリナラ・カリモフ後見人理事長に対し、日本国民を代表して御礼申し上げます。日本人にとって、このように大変なときにウズベキスタンがいち早く手を差し伸べてくれたことは、うれしい限りです。今日の覚書の調印を受けて、私たちの団体の間で協力関係がさらに発展していくことを期待しております」と述べました。

(松山光 記)

開館カレンダー2011～2012

後期

10 OCTOBER	11 NOVEMBER	12 DECEMBER
SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
1 JANUARY	2 FEBRUARY	3 MARCH
SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SUN MON TUE WED THU FRI SAT
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

「古代メソポタミア文明展」

講演会

「平山郁夫と世界遺産〈高句麗古墳〉」展(仮称)

●…は閉館日です

※11月23日・3月20日は祝日のため開館

※10/25日～28日は展示替えのため休館

3/13日～15日は展示替えのため休館

■期間内イベントのお知らせ

※会場は全て平山郁夫シルクロード美術館

《展覧会関連講演会》

参加費:無料(但し入館券が必要)

●11月23日(水・祝) 14:00～15:30

「粘土板から読み解く古代メソポタミアの暮らし」

講 師: 月本昭男(立教大学教授、古代オリエント学会会長)

●12月10日(土) 14:00～16:00

一部「円筒印章にみられるメソポタミア世界」

講 師: 石田恵子(古代オリエント博物館研究部長)

二部「対談 メソポタミア紀行」

講 師: 宮下佐江子(古代オリエント博物館学芸部長)、
平山美知子(当館館長)

《文化芸術特別講座～東京藝術大学教授を招いて～》

●11月2日(水) 11:00～15:30

講演会名:「日本画『現代(いま)』」

講 師: 宮廻正明

(日本画家、東京東京藝術大学社会連携センター長)

参加費: 3,500円(申込先/山梨文化学園/055-231-3090)

●11月9日(水) 11:00～15:30

講演会名:「彫刻『日本の文化は“伝世古”』」

講 師: 鍛内佐斗司

(東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学教授)

参加費: 3,500円(申込先/山梨文化学園/055-231-3090)

《H25山梨国民文化祭応援事業》

●11月12日(土)、13日(日) ※時間は参加コースにより異なります

「第1回八ヶ岳棒道ウォーク」

11/12: カルチャーウォーク、11/13: 本大会

参加費: 11/12…500円、11/13…1,000円

(申込先/八ヶ岳歩こう会/0551-32-5888)



公益財団法人

平山郁夫シルクロード美術館

平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第13号 平成23年9月30日発行

発行 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225

URL <http://www.silkroad-museum.jp>